

## 中学生のサッカー授業における 集団的技術の評価

山 本 博 男  
岩 崎 重 次 郎\*

球技指導の場合、どうしてもゲームが授業の中心になってくるのが、現場における体育教師の実感である。筆者らは、文献により現場体育教師の球技指導に関する研究傾向を調べた。雑誌「学校体育」において昭和27年から昭和46年に至る20年間の過去の先進的な教師はどのような研究をしてきたのか。その概要を一般化し、系統的にまとめた結果、体育現場における球技指導の研究傾向は、①球技全般に関する研究12編(1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12) ②バスケットボールに関する研究31編(13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43) ③バレーボールに関する研究26編(44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69) ④サッカーに関する研究12編(70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, ) ⑤その他の研究10編(82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91)に分類され、バスケットボール及びバレーボールに比べ、サッカーに関する研究は比較的少なかった。又、これらの研究を内容別にみると、技術の指導法に関する研究が大半で、評価に関する報告はほとんどなかった。

一方、球技指導の評価について、立岡は「ボール運動では、ゲームをより質の高いものにするためには、ゲームの評価がゲームの成績にそのまま深いかわりを持つようになる。」と述べている。<sup>②</sup>ゲームの評価をどのようにしたら

良いのかが、体育教師の現実的課題であるにもかかわらず、球技指導において授業の中心となるゲームの評価は、実際にはなされていないと思われる。更に、球技指導に関する評価については、スキルテストにより個人的技術の評価する報告があるが、集団的技術をどのように評価するかという報告は皆無に等しい。従って、筆者らは授業研究をすることによって集団的技術の評価を試みた。即ち、本研究の目的は、授業研究をすすめるなかでゲーム分析を行ない、ゲームにおける集団的技術の評価することである。

### ○方 法

昭和52年9月中旬より同年11月下旬にかけて実施したサッカー授業の実践例を紹介する。

#### ★サッカーを学習するにあたって

サッカーの学習では、いったい何を学べば良いのだろうか。一時間の授業が終って、今日の授業はとても楽しかった、よく動いたと思えるのはどんな時だろうか。サッカーのおもしろさは、相手の守りをパスやドリブルやフェイントでかわしてシュートするプレーではないだろうか。それを体験できた時、みんなが口をそろえて、とても楽しかった、よく動いたと言えると思う。今日からのサッカーの学習では、チーム内で協力して全員がサッカーのおもしろさを体験できるようにしよう

#### ★学習のねらい

サッカーのゲームが個人的技術、戦術的コ

\* 石川県石川郡野々市町立野々市中学校教諭

コンビネーションプレイの発揮によってチームの戦法が成り立っていることを理解する。個人的技術、集団的技術の向上習得をすすんで努力し、サッカーの楽しさをゲームを通じて体得し、併せてチームメート間の協力の意義を理解する。

### ★学習の目標

#### 1) 技術とルール

- 個人的技術—スキルテストにより自己の技術の程度を知り、毎時間の練習の中で技術の向上をめざす。
- 集団的技術—攻撃の技術（2対0，3対0）防御の技術（マンツーマン，ゾーン，カバーリング）の習得をめざす。
- ルールゲームをすすめていくために必要なルールの理解を深めていく。

#### 2) 態度・安全

### ★学習計画

- オリエンテーション（学習のねらい，目標，計画及び準備・補強運動）

#### 2 スキルテスト，班作り（係，仕事の決定）

#### 3 ためしのゲーム（ゼッケンの決定）

- 4
  - 5 } 2対0の攻撃
  - 6 } (ゲーム展開の様相説明)
  - 7 } 3対0の攻撃
  - 8 }
  - 9 }
  - 10 }
- ↑  
リーグ戦  
(7人制)  
(8分ゲーム)  
ゲーム分析  
↓

#### 11 スキルテスト

#### 12 まとめ（ゲーム分析・スキルテストの結果の説明）

#### 13 11人制サッカーの説明

#### 14 11人制ゲーム

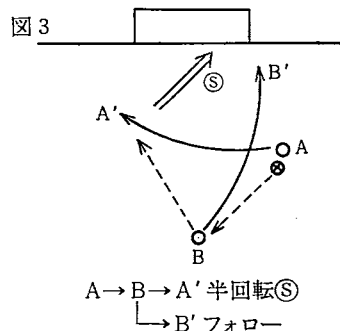
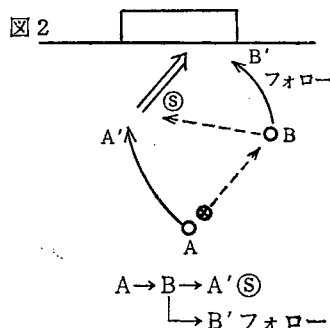
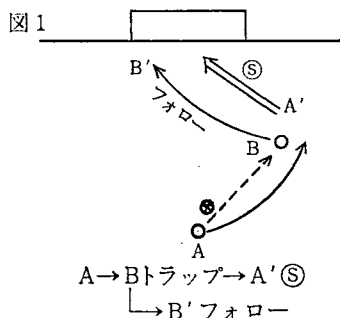
#### 15 11人制ゲーム

### ★評価について

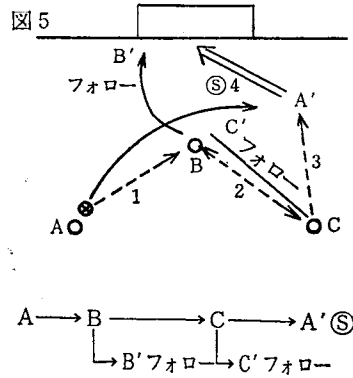
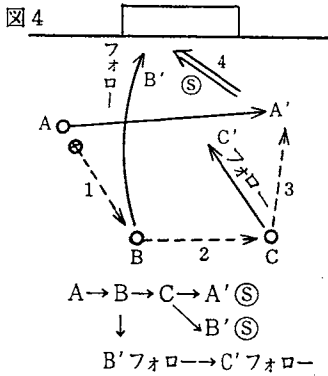
スキルテスト(個人的技術)ゲーム分析(集団的技術)グループノートより評価する。

＝サッカーの攻撃練習＝

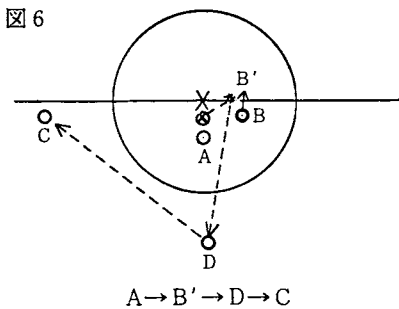
- 1) 2人での攻撃練習（図1，図2，図3）



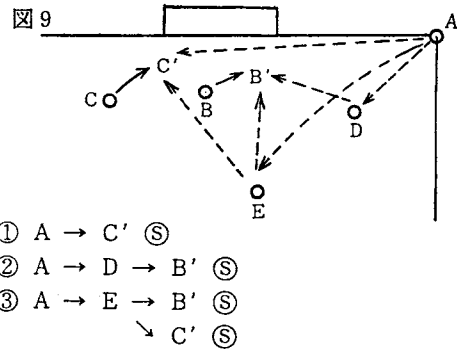
## 2) 3人での攻撃練習(図4, 図5)



## 3) キック・オフのボールのつなぎ方(図6)



## 5) コーナーキックからの攻撃(図9)



## 4) スローインからの攻撃(図7, 図8)

図7

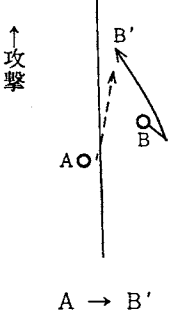
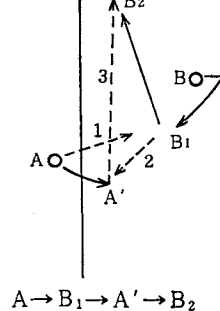


図8



こうした学習展開の中で、学習の目標である個人的技術については、次に示すスキルテストを実施した。

＝サッカーのスキルテスト＝

## 1) ボールリフティング

脚・膝を使って連続何回ボールをつくことができるか。

## 2) キック

イ) インサイドキック

ロ) インステップキック

・10m離れた相手に10本中何本正確にキックすることができるか。

## サッカーのゲーム分析記録例

3年3.4組 5班(1-1) 1班

Score	Foul	Pass. Dribble. Shoot の過程	Time	Pass. Dribble. Shoot の過程	Foul	Score
				K.O.4		
		15, 19				
				4, 5S.		
		15, 19				
				6, 2'		
		15, 16, 12				
				3, 6, 7, 4, S'		
		19				
				2, 4, 5, SB.O.		
		16, 15Th				
		B.O.S 17, 15, 20Th	2	5, 7'B.O.		
				G.K1, 4		
		20, 16, 20, 15				
				3, 5, 2'S		
		18				
				4		
		16, 15', 20				
				7', 5, S		
		20, 18				
			4	3, 7, 2'		
		19				
				4S		
		18				
				5㊟		1
		20, 15KO				
				4, 7		
		16, 12				
				4 B.O.		
		14Th				
				3, 4, 7		
		15, 17, 12				
				3, 2		
		12, 16				
				3	3	
		S20FK	6			
				1		
		16				
				7'S B.O		
		18GK. 16				
				42		
		16, 19, 12				
				7 S		
		19, 16, 15', 20, 18				
				5, 2' SB.O		
		18GK				
				3, 6		
		20			3	
1		㊟15P. I.C.	8			

K.O.:キックオフ S:シュート ㊟:シュートイン No:パス No':ドリブル

hT:スローイン GK:ゴールキック CK:コーナーキック FK:フリーキック

B.O.:ボールアウト P.K.:ペナルティーキック

- ・ 正確なキックとは、相手の左右1 m 以内の所にボールがキックされた場合とする

### 3) ヘディング

- ・ 5 m 離れた所よりボールを両手で頭上に投げてもらい、そのボールを10本中何本正確にヘディングすることができるか。
- ・ 正確なヘディングとは、相手の左右1 m 以内でトラッピングが可能な所にボールが返った場合とする。

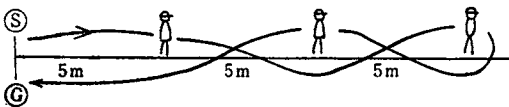
### 4) トラッピング

- ・ 5 m 離れた所よりボールを腰から下の所へ投げてもらい、そのボールを10本中何本正確にトラップすることができるか。
- ・ 正確なトラップとは、自分の周りに半径1 m の円を描きその中でボールをトラップすることができた場合とする。

### 5) ドリブル

図10の様にドリブルをして何秒かかるか

図10



### 6) シュート

- ・ ペナルティキックマーク (11 m) 上にボールを置き、ハンドボールのゴール (3 m × 2 m) めがけてシュートをする。
- ・ 左右5本ずつインステップキックをし、何本入ったかを記録する。
- ・ スピードのないシュートは1回の失敗とする。

ルールについては期末テスト (12月中旬) で知識テストを実施した。態度・安全に関する評価については具体的な評価方法が考えられず、評価対象とはしなかった。

本研究においては、学習の目標の1つである集団的技術の評価を次のような手順で試みた。まず、ゲーム分析の記録用紙を作成した。記録の方法は、教師自身がゲームを観察しながら、サッカーをよく理解した生徒にゲームを解説させ生徒の言葉を聞いてゲーム中記録用紙に記録をとった。(写真1, 記録例)

ゲームの終わった段階で、記録用紙を生徒に見せ、ゲーム展開の様相を理解反省させ次時の授業にそなえた。(写真2)

研究対象は、石川県石川郡野々市町立野々市中学校男子生徒2年生 (6クラス 127名) 3年生 (6クラス 125名) である。本校における体

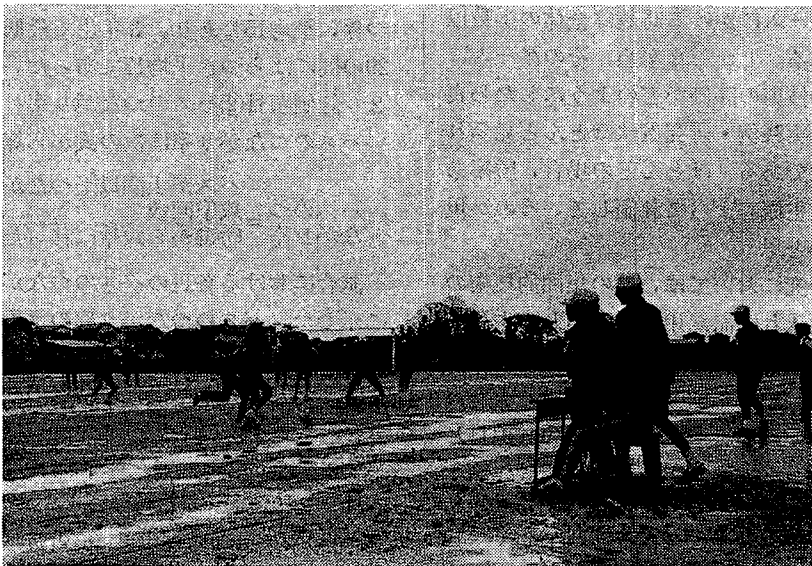


写真1 一教師がサッカーのゲーム展開を記録用紙に記録する様子

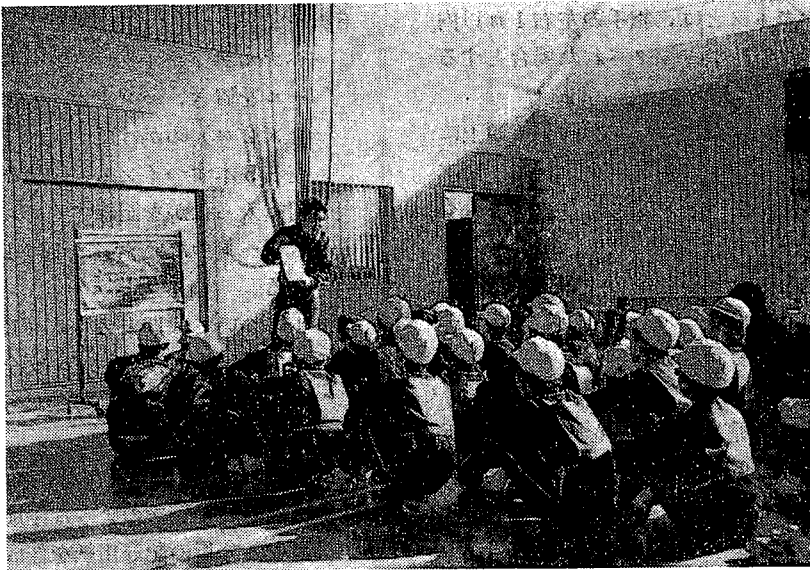


写真2—教師がサッカーのゲーム展開を記録用紙で生徒に説明する様子

育授業は各学年とも1・2組, 3・4組, 5・6組と2クラスづつ組み合わせられている。班編成は, 各クラス3班で授業中6班編成となっている。各班は生徒7名で構成され, 1ゲーム時間を8分とした。ゲームは6班によるリーグ戦を実施した。なお, 各ゲーム毎に生徒のポジションをローテーションさせた。

球技指導においては, ゲームが指導計画の中核であり, ゲームにかかる時数は全体の半数以上を示めている。しかしながら, そのゲームにおいて集団的技術の評価をどのようにしたら良いのか, その実践例・研究例はほとんど見られないのが現状である。ほとんどの場合, 勝率あるいは教師の主観によって評価しているのが現実ではないかと思う。

そこで本研究においては, この集団的技術の評価にメスを入れ, 記録用紙を利用し, 主観的ではなく, できるだけ客観的なデータを出すことによってその班の集団的技術の評価しようと試みた。即ち, 次のような諸観点(評価項目)から集団的技術を分析し, これらを総合評価した。

- ・評価項目①パス数
- ・評価項目②パスのつながり率

- ・評価項目③シュート・得点数
- ・評価項目④リーグ戦における対戦成績
- ・集団的技術の総合評価

## ○結 果

### 1 評価項目①パス数

試合における各班のパス数を表1に示した。パス数の合計から順位を右欄に示した。各班のパス数は2年生で最低5から最高29の間にばらつき, 平均15であり, 3年生で最低4から最高29の間にばらつき平均17であった。

### 2 評価項目②パスのつながり率

パスのつながり率は次の式から算出された。

$$\text{パスのつながり率} = \frac{\text{パスが1回以上つながった攻撃回数}}{\text{防御から攻撃に移った回数}} \times 100$$

試合における各班のパスのつながり率を表2に示した。パスのつながり率の平均から順位を右欄に示した。各班のパスのつながり率は2年生で最低10.0%から最低67.7%の間にばらつき, 平均38.0%であり, 3年生で最低15.0%から最高65.5%の間にばらつき, 平均40.9%であった。

### 3 評価項目③シュート・得点数

試合における各班のシュート及び得点数を表

表1—試合における各班のパス数

2 年 生

組 班	試 合	1	2	3	4	5	計	順位
1 ・ 2	1	9	23	21	7	12	72	3
	2	28	18	10	21	19	96	2
	3	13	7	25	26	29	100	1
	4	9	16	21	7	24	77	4
	5	4	13	11	11	11	50	6
	6	15	24	20	10	5	74	5
3 ・ 4	1	9	9	12	14	12	56	5
	2	12	16	12	14	23	77	2
	3	15	14	15	24	11	79	1
	4	21	17	6	9	14	67	4
	5	17	6	8	13	11	55	6
	6	13	14	14	19	10	70	3
5 ・ 6	1	10	12	20	19	19	80	3
	2	15	22	13	11	19	80	3
	3	13	13	13	13	17	69	5
	4	18	17	15	21	25	96	1
	5	9	14	14	5	17	59	6
	6	17	16	18	12	20	83	2

3 年 生

組 班	試 合	1	2	3	4	5	計	順位
1 ・ 2	1	14	11	18	16	8	67	6
	2	20	11	12	20	10	73	5
	3	9	9	19	18	20	75	3
	4	12	18	8	13	24	75	3
	5	9	15	18	20	21	83	2
	6	17	25	24	17	29	112	1
3 ・ 4	1	21	16	20	7	13	77	6
	2	20	14	14	28	20	96	2
	3	15	16	18	18	19	86	4
	4	26	18	17	23	13	97	1
	5	21	16	24	14	13	88	3
	6	22	11	14	14	21	82	5
5 ・ 6	1	6	11	10	14	13	54	6
	2	12	24	17	23	20	96	2
	3	12	4	16	13	17	62	5
	4	15	19	25	17	20	96	2
	5	10	21	19	13	11	74	4
	6	22	16	29	19	20	106	1

3に示した。ただしシュート1を1点、シュートして得点した場合（シュートイン）を2点とした。その合計点より右欄に順位を示した。各班のシュートと得点数の合計点は2年生で最低7から最高33の間にばらつき、平均17であり、3年生で最低6から最高33の間にばらつき、平均16であった。

#### 4 評価項目④リーグ戦における対戦成績

試合における各班のリーグ戦における対戦成績を表4に示した。勝ち数・負け数・引き分け数から、順位を右欄に示した。

#### 5 集団的技術の総合評価

集団的技術の評価項目①パス数、②パスのつながり率、③シュート得点数、④リーグ戦における対戦成績から各班の総合順位を表5に示した。

### ○考 察

本研究の目的は、サッカーの授業研究をすすめるなかでゲーム分析を行ないゲームにおける集団的技術の評価を試みることであった。即ち筆者らは、具体的に4つの評価項目を設定し、

集団的技術を総合的に評価した。その結果、1試合中のパス数は2年生で平均30、3年生で平均34とやや3年生の方が多くであった。パスのつながり率では、2年生で平均38%、3年生で平均41%とやはり3年生の方がパスを大切にしていると思われる。シュートと得点数については2年生、3年生にあまり差がないようであった。とくに、各班の集団的技術を総合的に評価したが(表5)、これにスキルテストで得られた個人的技術の評価を合わせて評価する必要がある。又、その際、個人的技術と集団的技術にどれだけの重みづけをして、生徒個人の技術評価をするかが問題となると思われる。更に、本研究においては集団的技術の4評価項目それぞれに25%の重みをかけて総合の評価を行なったが、この重みの比率が変れば、当然異なった順位が予想される。

最後に、個人的技術や集団的技術の評価の仕方（重みづけや評価のものさし）によって、球技の指導法が影響されると思われるので、今後いわゆるより吟味された評価を通じて更に授業研究がすすめられることが望まれる。

表2—試合における各班のパスのつながり率

2 年 生

組	試合 班	1		2		3		4		5		平均 (%)	順 位
1 ・ 2	1	$\frac{7}{24}$	29.2	$\frac{14}{36}$	38.9	$\frac{12}{39}$	30.8	$\frac{7}{25}$	28.0	$\frac{8}{29}$	27.6	30.9	5
	2	$\frac{14}{31}$	45.2	$\frac{12}{38}$	31.6	$\frac{6}{32}$	18.8	$\frac{14}{28}$	50.0	$\frac{11}{29}$	37.9	36.7	3
	3	$\frac{8}{26}$	30.8	$\frac{7}{37}$	18.9	$\frac{11}{27}$	40.7	$\frac{14}{26}$	53.8	$\frac{18}{32}$	56.3	40.1	1
	4	$\frac{8}{27}$	29.6	$\frac{10}{24}$	41.7	$\frac{13}{39}$	33.3	$\frac{6}{29}$	20.7	$\frac{14}{27}$	51.9	35.4	4
	5	$\frac{3}{30}$	10.0	$\frac{10}{35}$	28.6	$\frac{10}{27}$	37.0	$\frac{9}{29}$	31.0	$\frac{10}{26}$	38.5	29.0	6
	6	$\frac{11}{24}$	45.8	$\frac{16}{24}$	66.7	$\frac{13}{32}$	40.6	$\frac{7}{28}$	25.0	$\frac{5}{31}$	16.1	38.8	2
3 ・ 4	1	$\frac{7}{19}$	36.8	$\frac{7}{24}$	29.2	$\frac{9}{26}$	34.6	$\frac{9}{27}$	33.3	$\frac{10}{19}$	52.6	37.3	3
	2	$\frac{9}{26}$	34.6	$\frac{12}{30}$	40.0	$\frac{11}{27}$	40.7	$\frac{9}{27}$	33.3	$\frac{14}{29}$	48.3	39.4	2
	3	$\frac{13}{29}$	44.8	$\frac{10}{21}$	47.6	$\frac{13}{30}$	43.3	$\frac{20}{29}$	70.0	$\frac{9}{23}$	39.1	50.0	1
	4	$\frac{13}{28}$	46.4	$\frac{10}{25}$	40.0	$\frac{5}{29}$	17.2	$\frac{8}{28}$	28.6	$\frac{10}{30}$	33.3	33.1	5
	5	$\frac{13}{26}$	50.0	$\frac{5}{22}$	22.7	$\frac{6}{28}$	21.4	$\frac{10}{26}$	38.5	$\frac{8}{28}$	28.6	32.2	6
	6	$\frac{8}{19}$	42.1	$\frac{10}{29}$	34.5	$\frac{12}{26}$	46.2	$\frac{9}{25}$	36.0	$\frac{6}{27}$	22.2	36.2	4
5 ・ 6	1	$\frac{6}{27}$	22.2	$\frac{8}{22}$	36.4	$\frac{16}{24}$	66.7	$\frac{10}{22}$	45.5	$\frac{11}{27}$	40.7	42.3	2
	2	$\frac{6}{15}$	40.0	$\frac{11}{23}$	47.8	$\frac{12}{35}$	34.3	$\frac{10}{27}$	37.0	$\frac{12}{27}$	44.4	40.7	3
	3	$\frac{8}{37}$	21.6	$\frac{11}{22}$	50.0	$\frac{13}{31}$	41.9	$\frac{9}{21}$	42.9	$\frac{9}{25}$	36.0	38.5	6
	4	$\frac{13}{34}$	38.2	$\frac{12}{37}$	32.4	$\frac{9}{23}$	39.1	$\frac{15}{27}$	55.6	$\frac{15}{27}$	55.6	44.2	1
	5	$\frac{7}{15}$	46.7	$\frac{10}{22}$	45.5	$\frac{14}{32}$	43.8	$\frac{5}{31}$	16.1	$\frac{11}{28}$	39.3	38.3	5
	6	$\frac{13}{33}$	39.4	$\frac{11}{26}$	42.3	$\frac{10}{35}$	28.6	$\frac{9}{31}$	39.4	$\frac{14}{27}$	51.9	40.3	4



## 3 年 生

組	試合 班	1		2		3		4		5		平均 (%)	順 位
1 ・ 2	1	$\frac{9}{20}$	45.0	$\frac{6}{28}$	21.4	$\frac{13}{24}$	54.2	$\frac{12}{31}$	38.7	$\frac{7}{30}$	23.3	36.5	5
	2	$\frac{14}{26}$	53.8	$\frac{10}{24}$	41.7	$\frac{9}{29}$	31.0	$\frac{15}{31}$	48.4	$\frac{7}{22}$	31.8	41.3	2
	3	$\frac{8}{23}$	34.8	$\frac{6}{23}$	26.1	$\frac{15}{26}$	57.7	$\frac{11}{31}$	35.5	$\frac{15}{30}$	50.0	40.8	3
	4	$\frac{11}{28}$	39.3	$\frac{10}{22}$	45.5	$\frac{6}{24}$	25.0	$\frac{9}{34}$	26.5	$\frac{10}{23}$	43.5	36.0	6
	5	$\frac{8}{26}$	30.8	$\frac{11}{28}$	39.3	$\frac{12}{25}$	48.0	$\frac{11}{35}$	31.4	$\frac{11}{29}$	37.9	37.5	4
	6	$\frac{12}{26}$	46.2	$\frac{10}{21}$	47.6	$\frac{16}{28}$	57.1	$\frac{13}{31}$	41.9	$\frac{15}{30}$	50.0	48.6	1
3 ・ 4	1	$\frac{13}{34}$	38.2	$\frac{13}{30}$	43.3	$\frac{14}{24}$	58.3	$\frac{5}{27}$	18.5	$\frac{10}{29}$	34.5	38.6	6
	2	$\frac{12}{29}$	41.4	$\frac{12}{35}$	34.5	$\frac{11}{25}$	44.0	$\frac{19}{29}$	65.5	$\frac{11}{29}$	37.9	44.6	3
	3	$\frac{11}{30}$	36.7	$\frac{12}{31}$	38.7	$\frac{13}{25}$	52.0	$\frac{13}{26}$	50.0	$\frac{15}{27}$	55.6	46.6	1
	4	$\frac{14}{31}$	45.2	$\frac{12}{35}$	34.3	$\frac{9}{25}$	36.0	$\frac{12}{27}$	44.4	$\frac{13}{34}$	38.2	39.6	5
	5	$\frac{13}{29}$	44.8	$\frac{12}{26}$	46.2	$\frac{14}{25}$	56.0	$\frac{12}{26}$	46.2	$\frac{11}{33}$	33.3	45.3	2
	6	$\frac{16}{35}$	45.7	$\frac{10}{27}$	37.0	$\frac{7}{23}$	30.4	$\frac{11}{29}$	37.9	$\frac{13}{27}$	48.1	39.8	4
5 ・ 6	1	$\frac{4}{26}$	15.4	$\frac{6}{22}$	23.1	$\frac{7}{27}$	25.9	$\frac{7}{20}$	35.0	$\frac{6}{19}$	31.6	26.2	6
	2	$\frac{6}{25}$	24.0	$\frac{16}{32}$	50.0	$\frac{12}{25}$	48.0	$\frac{14}{30}$	46.7	$\frac{12}{20}$	60.0	45.7	2
	3	$\frac{9}{27}$	33.3	$\frac{3}{20}$	15.0	$\frac{8}{24}$	33.3	$\frac{8}{20}$	40.0	$\frac{12}{27}$	44.4	33.2	5
	4	$\frac{7}{20}$	35.0	$\frac{12}{27}$	44.4	$\frac{12}{26}$	46.2	$\frac{10}{30}$	33.3	$\frac{10}{23}$	43.5	40.5	4
	5	$\frac{7}{31}$	22.6	$\frac{12}{23}$	52.2	$\frac{15}{24}$	62.5	$\frac{10}{23}$	43.5	$\frac{9}{24}$	37.5	43.7	3
	6	$\frac{11}{27}$	40.7	$\frac{12}{25}$	48.0	$\frac{15}{25}$	60.0	$\frac{12}{23}$	52.2	$\frac{15}{27}$	55.6	51.3	1

表3—試合における各班のシュート・得点数

## 2 年 生

組	班	試合	1	2	3	4	5	T	計	順位
1 ・ 2	1	S	2	3	2	3	0	10	11	3
		Ⓢ	1	0	0	0	0	1		
	2	S	6	5	4	1	7	23	33	1
		Ⓢ	2	2	2	0	3	10		
	3	S	0	1	5	1	2	9	11	3
		Ⓢ	0	0	2	0	0	2		
	4	S	6	4	3	3	2	18	24	2
		Ⓢ	1	2	0	1	2	6		
	5	S	3	0	0	0	3	6	7	6
		Ⓢ	1	0	0	0	0	1		
	6	S	1	2	2	1	1	7	10	5
		Ⓢ	0	1	0	1	1	3		
3 ・ 4	1	S	2	2	0	2	1	7	9	6
		Ⓢ	1	0	0	0	1	2		
	2	S	3	4	3	3	3	16	22	3
		Ⓢ	2	0	1	1	2	6		
	3	S	4	2	6	3	5	20	32	1
		Ⓢ	2	1	2	2	5	12		
	4	S	2	3	4	1	6	16	20	4
		Ⓢ	1	1	1	0	1	4		
	5	S	0	2	7	4	4	17	23	2
		Ⓢ	0	0	1	2	3	6		
	6	S	3	2	3	1	1	10	13	5
		Ⓢ	1	2	0	0	0	3		
5 ・ 6	1	S	1	6	2	3	4	16	19	3
		Ⓢ	0	2	1	0	0	3		
	2	S	1	7	2	3	4	17	21	1
		Ⓢ	0	2	1	1	0	4		
	3	S	0	1	3	1	3	8	12	5
		Ⓢ	0	0	3	1	0	4		
	4	S	4	1	3	5	4	17	21	1
		Ⓢ	0	0	0	1	3	4		
	5	S	3	0	1	1	2	7	8	6
		Ⓢ	1	0	0	0	0	1		
	6	S	1	1	2	3	4	11	14	4
		Ⓢ	0	0	1	1	1	3		

S:シュート, Ⓢ:シュートインを示す。

## 3 年 生

組	班	試合	1	2	3	4	5	T	計	順位
1 ・ 2	1	S	4	2	2	1	2	11	13	4
		Ⓢ	0	0	1	0	1	2		
	2	S	6	2	1	3	2	14	14	1
		Ⓢ	0	0	0	0	0	0		
	3	S	2	0	2	5	2	11	13	4
		Ⓢ	1	0	0	1	0	2		
	4	S	7	2	0	4	0	13	14	1
		Ⓢ	0	0	0	1	0	1		
	5	S	2	2	2	0	4	10	12	6
		Ⓢ	1	0	0	0	1	2		
	6	S	4	1	4	1	2	12	14	1
		Ⓢ	1	1	0	0	0	2		
3 ・ 4	1	S	2	2	10	1	0	15	18	2
		Ⓢ	1	0	1	1	0	3		
	2	S	2	1	3	2	4	12	16	3
		Ⓢ	0	0	1	1	2	4		
	3	S	0	2	1	1	3	7	7	5
		Ⓢ	0	0	0	0	0	0		
	4	S	4	4	17	2	0	27	33	1
		Ⓢ	0	1	4	1	0	6		
	5	S	1	4	3	2	0	10	13	4
		Ⓢ	0	2	1	0	0	3		
	6	S	1	0	2	1	1	5	6	6
		Ⓢ	0	0	0	1	0	1		
5 ・ 6	1	S	4	3	3	0	1	11	13	5
		Ⓢ	0	1	1	0	0	2		
	2	S	5	2	6	3	6	22	25	2
		Ⓢ	1	0	2	0	0	3		
	3	S	6	1	0	2	5	14	17	4
		Ⓢ	1	0	0	0	2	3		
	4	S	2	5	3	5	5	20	28	1
		Ⓢ	1	1	0	4	2	8		
	5	S	4	2	3	1	2	12	13	5
		Ⓢ	0	0	1	0	0	1		
	6	S	3	2	3	6	2	16	19	3
		Ⓢ	0	1	0	2	0	3		

S:シュート, Ⓢ:シュートインを示す。

表4—リーグ戦における対戦成績

2 年 生

組	班	1	2	3	4	5	6	勝	負	分	順位
1・2	1		0 - 3	0 - 0	0 - 0	0 - 0	1 - 0	1	1	3	4
	2	3 - 0		2 - 0	0 - 1	2 - 1	2 - 0	4	1	0	2
	3	0 - 0	0 - 2		0 - 1	2 - 0	0 - 1	1	3	1	5
	4	0 - 0	1 - 0	1 - 0		2 - 0	2 - 1	4	0	1	1
	5	0 - 0	1 - 2	0 - 2	0 - 2		0 0 1	0	4	1	6
	6	0 - 1	0 - 2	1 - 2	1 - 2	1 - 0		2	3	0	3
3・4	1		0 - 2	1 - 5	0 - 1	0 - 1	1 - 1	0	4	1	6
	2	2 - 0		0 - 2	2 - 1	2 - 0	1 - 0	4	1	0	2
	3	5 - 1	2 - 0		2 - 1	1 - 0	2 - 0	5	0	0	1
	4	1 - 0	1 - 2	1 - 2		0 - 3	1 - 2	1	4	0	5
	5	1 - 0	0 - 2	0 - 1	3 - 0		2 - 0	3	2	0	3
	6	1 - 1	0 - 1	0 - 2	2 - 1	0 - 2		1	3	1	4
5・6	1		0 - 0	0 - 1	1 - 0	2 - 0	1 - 0	3	1	1	1
	2	0 - 0		2 - 0	1 - 1	0 - 1	1 - 1	1	2	2	5
	3	1 - 0	0 - 2		0 - 0	3 - 0	0 - 1	2	2	1	3
	4	0 - 1	1 - 1	0 - 0		3 - 0	0 - 0	1	1	3	4
	5	0 - 2	1 - 0	0 - 3	0 - 3		0 - 1	1	4	0	6
	6	0 - 1	1 - 1	1 - 0	0 - 0	1 - 0		2	1	2	2

表5—集団的技術の総合評価

2 年 生

組	班	評価項目	①	②	③	④	計	順位
1・2	1		3	5	3	4	15	5
	2		2	3	1	2	8	1
	3		1	1	3	5	10	2
	4		4	4	2	1	11	3
	5		6	6	6	6	24	6
	6		5	2	5	3	15	4
3・4	1		5	3	6	6	20	6
	2		2	2	3	2	9	2
	3		1	1	1	1	4	1
	4		4	5	4	5	18	5
	5		6	6	2	3	17	4
	6		3	4	5	4	16	3
5・6	1		3	2	3	1	9	2
	2		3	3	1	5	12	3
	3		5	6	5	3	19	5
	4		1	1	1	4	7	1
	5		6	5	6	6	23	6
	6		2	4	4	2	12	3

3 年 生

組	班	評価項目	①	②	③	④	計	順位
1・2	1		6	5	4	1	16	4
	2		3	2	1	5	11	2
	3		3	3	4	1	11	2
	4		3	6	1	6	16	4
	5		2	4	6	4	16	4
	6		1	1	1	3	6	1
3・4	1		6	6	2	4	18	5
	2		2	3	3	2	10	2
	3		4	1	5	5	15	4
	4		1	5	1	1	8	1
	5		3	2	4	3	12	3
	6		5	4	6	6	21	6
5・6	1		6	6	5	2	19	6
	2		2	2	2	3	9	2
	3		5	5	4	4	18	4
	4		2	4	1	1	8	1
	5		4	3	5	6	18	4
	6		1	1	3	1	9	2

表4—リーグ戦における対戦成績

3 年 生

組	班	1	2	3	4	5	6	勝	負	分	順 位
1・2	1		0 — 0	1 — 0	1 — 0	0 — 0	0 — 1	2	1	2	1
	2	0 — 0		0 — 0	0 — 0	0 — 1	0 — 0	0	1	4	5
	3	0 — 1	0 — 0		1 — 0	0 — 0	1 — 0	2	1	2	1
	4	0 — 1	0 — 0	0 — 1		1 — 0	0 — 1	1	3	1	6
	5	0 — 0	1 — 0	0 — 0	0 — 1		1 — 0	1	2	2	4
	6	1 — 0	0 — 0	0 — 1	1 — 0	0 — 1		2	2	1	3
3・4	1		0 — 2	0 — 0	1 — 1	1 — 1	1 — 0	1	1	3	4
	2	2 — 0		1 — 0	0 — 1	0 — 0	1 — 1	2	1	2	2
	3	0 — 0	0 — 1		0 — 0	0 — 0	0 — 0	0	1	4	5
	4	1 — 1	1 — 0	0 — 0		0 — 0	4 — 0	2	0	3	1
	5	1 — 1	0 — 0	0 — 0	0 — 0		2 — 0	1	0	4	3
	6	0 — 1	1 — 1	0 — 0	0 — 4	0 — 2		0	3	2	6
5・6	1		0 — 0	0 — 0	0 — 0	1 — 0	0 — 0	1	0	4	2
	2	0 — 0		1 — 1	0 — 4	0 — 0	2 — 0	1	1	3	3
	3	0 — 0	1 — 1		0 — 1	0 — 1	2 — 0	1	2	2	4
	4	0 — 0	4 — 0	1 — 0		2 — 0	1 — 1	3	0	2	1
	5	0 — 1	0 — 0	1 — 0	0 — 2		0 — 2	1	3	1	6
	6	0 — 0	0 — 2	0 — 2	1 — 1	2 — 0		1	2	2	4

## 参 考 文 献

- 1) 小沢久夫：球技の技術指導について「学校体育」7巻5号 昭和29年
- 2) 田中卓一郎：球技教材における目標のとらえ方— 民主的態度の育成をめざして— 「学校体育」10巻4号 昭和32年
- 3) 川口利夫：球技指導上の問題点 「学校体育」12巻8号 昭和34年
- 4) 松木正忠：ゲームなどによる球技のまとめの指導「学校体育」13巻7号 昭和35年
- 5) 清水義広：球技指導の一考察 準備運動について「学校体育」14巻4号 昭和36年
- 6) 松木正忠：ゲームを中断しすぎる球技指導 「学校体育」16巻8号 昭和38年
- 7) 中沢光治、西村尚子、宮入久：チームゲームの学習課程と指導法の研究 「学校体育」16巻12号 昭和38年
- 8) 松井久男：教材の系統と指導の系列 球技運動「学校体育」18巻1号 昭和40年
- 9) 池田二三夫：球技指導のためのグルーピング「学校体育」18巻4号 昭和40年
- 10) 池田二三夫：球技指導における場のつくり方「学校体育」18巻10号 昭和40年
- 11) 菅 亮一、堀越泉一：球技指導におけるチーム技能をたかめるてだて—バレーボールを中心として—「学校体育」19巻11号 昭和41年
- 12) 長島敏男：球技の学習内容と学習課程—バスケットボールを中心として— 「学校体育」23巻3号 昭和45年
- 13) 高橋亮三：体育理論 バスケットボール 「学校体育」6巻4号 昭和28年
- 14) 高橋亮三：準教科書を使って行うバスケットボールの学習指導 「学校体育」6巻10号 昭和28年
- 15) 金子堅太郎：中学校の指導案 バスケットボール「学校体育」9巻10号 昭和31年
- 16) 石垣三郎：私の指導案（中学校2年女子） バスケットボールのショットの指導 「学校体育」9巻12号 昭和31年

- 17) 国井和男：中学校の指導案 バスケットボールのガーディングについて—3対2の攻防の指導—「学校体育」13巻10号 昭和35年
- 18) 川口利夫：中学3年の指導案 バスケットボール「学校体育」14巻10号 昭和36年
- 19) 松木正忠：中学2年の指導案 バスケットボール「学校体育」14巻10号 昭和36年
- 20) 関岡康雄：中学1年の指導案 バスケットボール「学校体育」14巻10号 昭和36年
- 21) 吉村磨古刀：中学校の指導案 バスケットボールのルールと審判法の指導（実技を通して）「学校体育」14巻12号 昭和36年
- 22) 東 和夫：中学校の指導案 バスケットボールの指導について（ドリブルとシュート）「学校体育」15巻1号 昭和37年
- 23) 東 和夫：中学校の指導展開のポイント バスケット展開のポイント—ガード—「学校体育」15巻2号 昭和37年
- 24) 東 和夫：バスケット展開のポイント（3）ゲーム、審判「学校体育」15巻3号 昭和37年
- 25) 後藤敏夫：球技（バスケットボール）の学習内容とその到達標準について 「学校体育」15巻11号 昭和37年
- 26) 田丸 潔：中学校体育科指導のポイント バスケットボールにおける小人数の攻防の指導について「学校体育」16巻9号 昭和38年
- 27) 村上藤男：資料をいかしたバスケットボール学習の指導 「学校体育」18巻4号 昭和40年
- 28) 鯛谷 隆：バスケットボールのセットショット「学校体育」18巻10号 昭和40年
- 29) 中島 悟：バスケットボールの評価—技能を中心にして—「学校体育」20巻5号 昭和42年
- 30) 石井功樹：中学校学年別技術の指導 体育学習におけるバスケットボールの能率的効果的指導について「学校体育」20巻11号 昭和42年
- 31) 関 四郎：中学校女子バスケットボールのルール改正をめぐって 「学校体育」20巻4号 昭和42年
- 32) 石高 寛：1年生のバスケットボールの技術と診断と指導 「学校体育」21巻2号 昭和43年
- 33) 佐藤竜介：バスケットボールの効果的指導法はどのようにあればよいか 「学校体育」21巻3号 昭和43年
- 34) 西村和夫：教材の精選系統化と体力づくり バスケットボールを中心として 「学校体育」21巻14号 昭和43年
- 35) 保健体育研究部：能力差に応じた体育指導 器械・バスケットボールを通じて 「学校体育」21巻14号 昭和43年
- 36) 京口和雄：中学校学年別技術の指導 男子バスケットボールの指導 「学校体育」21巻15号 昭和43年
- 37) 平井 毅：中学校における指導過程の工夫 バスケットボールの指導 「学校体育」22巻1号 昭和44年
- 38) 塩原俊郎：本校のバスケットボール指導 特に運動量増加についての留意点について 「学校体育」22巻2号 昭和44年
- 39) 小池重則：中学校における指導課程のくふう 重きを中心としたバスケットボールの指導法—中学1年男子の実践例—「学校体育」23巻12号 昭和45年
- 40) 長沢 寛、稲村裕信：中学校における指導課程のくふう 男子バスケットボールコントロールの指導「学校体育」23巻2号 昭和45年
- 41) 黒岩桂子：中学校における指導課程のくふう バスケットボールの指導—自主的学習をめざして—「学校体育」24巻4号 昭和46年
- 42) 後藤敏夫：中学校における指導課程のくふう 女子バスケットボールカットインプレーの指導 「学校体育」24巻12号 昭和46年
- 43) 山崎 実：中学校における指導課程のくふう 一種目の特性に応じた指導、男子バスケットボール速攻—「学校体育」24巻13号 昭和46年
- 44) 大園欽一：私の試みた指導案中学1年生のバレーボール指導 「学校体育」6巻5号 昭和28年
- 45) 松木正忠：私の試みた指導案、バレーボールの指導 「学校体育」7巻10号、昭和29年
- 46) 玉井哲郎：私の試みた指導案、バレーボールの能力テスト 「学校体育」12巻5号 昭和34年
- 47) 浅海公平、佐藤篤志：中学校の指導案バレーボールのグループ学習(一)コンビネーションプレーの指導—「学校体育」13巻5号 昭和35年
- 48) 浅海公平、佐藤篤志：中学校の指導案バレーボールのグループ学習(二)—コンビネーションプレーの指導—「学校体育」13巻6号 昭和35年
- 49) 寄金義紀：バレーボールのネットプレーの指導 中学2年女子 「学校体育」13巻9号 昭和35年
- 50) 外山 夫：中学校の指導案バレーボールのネットプレーの指導 「学校体育」14巻6号 昭和36年

- 51) 高橋四郎：バレーボール展開のポイントⅠ「学校体育」15巻1号 昭和36年
- 52) 高橋四郎：バレーボール展開のポイントⅡ 「学校体育」15巻5号 昭和36年
- 53) 高橋四郎：バレーボール展開のポイントⅢ ゲーム・ルール審判の指導を中心に 「学校体育」15巻6号 昭和36年
- 54) 大野成哉：中学校1年生のバレーボール指導のポイント組み手パス・レシーブ 「学校体育」16巻5号 昭和38年
- 55) 野口昌広：中学校バレーボール指導のポイント2年生アタックプレー 「学校体育」16巻5号 昭和38年
- 56) 中津原卓，柳鶴義彦：中学校体育科指導のポイント「バレーボール」レシーブの指導 「学校体育」18巻5号 昭和40年
- 57) 井上弥十郎：中学校指導のポイントパス，トス，キル攻撃の指導法—中学校男子バレーボール— 「学校体育」18巻6号 昭和40年
- 58) 渡辺 功：バレーボールの動機づけ（中学3年） 「学校体育」20巻5号 昭和42年
- 59) 篠原 淳：中学校学年別技術の指導 バレーボールの学年別指導 「学校体育」20巻5号 昭和42年
- 60) 室田二郎：中学校学年別技術の指導 女子バレーボールの指導 「学校体育」21巻5号 昭和43年
- 61) 相原 智：6人制か9人制か中学校のバレーボール 「学校体育」21巻6号 昭和43年
- 62) 黒木 昊：中学校学年別技術の指導男子のバレーボール 「学校体育」21巻7号 昭和43年
- 63) 松木辰雄：バレーボールのゲームを構成する集団技能のカリキュラム—初歩的な段階のゲーム指導について— 「学校体育」21巻14号 昭和43年
- 64) 辻江正道：中学校における指導過程の工夫 1年男子バレーボールの指導 「学校体育」22巻7号 昭和44年
- 65) 石本星二：中学校における指導過程のくふう バレーボールスライディングレシーブ 「学校体育」23巻11号 昭和45年
- 66) 山本考司：中学校における指導過程のくふう 女子バレーボールのローリングレシーブ「学校体育」24巻7号 昭和45年
- 67) 山崎 実：中学校における指導過程のくふう 女子バレーボールの指導 「学校体育」24巻7号 昭和46年
- 68) 八代美代子：中学校における指導過程の工夫 バレーボールの技術の特性に応じた指導 サーブ，レシーブを中心に 「学校体育」24巻8号 昭和46年
- 69) 加藤 剛：中学校における指導過程のくふう 男子バレーボール—キル— 「学校体育」24巻11号 昭和46年
- 70) 加々美一郎：私の指導案（中学校）「学校体育」7巻1号 昭和29年
- 71) 松木正忠：サッカーの指導（中学校） 「学校体育」10巻1号 昭和32年
- 72) 松木正忠：サッカーのキックの指導段階 「学校体育」12巻10号 昭和34年
- 73) 山口 操：サッカーのトラッピングの指導 「学校体育」13巻11号 昭和35年
- 74) 内 允：サッカーのゴールキーパーの指導 「学校体育」13巻12号 昭和35年
- 75) 小泉晴徳：中学校体育科指導のポイント（サッカーの3人で2人を攻める指導）「学校体育」18巻2号 昭和40年
- 76) 松木正忠：サッカーの技能をのばすための補強運動 「学校体育」19巻6号 昭和41年
- 77) 鈴木勇作：サッカーの少人数の攻防「学校体育」19巻10号 昭和41年
- 78) 春木野江一郎：中学校学年別技術の指導（サッカーのドリブルシュート）「学校体育」21巻1号 昭和43年
- 79) 玉光源爾：中学校における指導過程の工夫（男子のサッカー）「学校体育」22巻1号 昭和44年
- 80) 白井 朗：中学校における指導課程の工夫（男子サッカー指導）「学校体育」22巻12号 昭和44年
- 81) 松本国夫：中学校における指導課程の工夫（種目に応じた指導 サッカー各種のキック） 「学校体育」24巻14号 昭和46年
- 82) 平岡秀雄：私の工夫した新しいボールゲーム—タッチフットボール— 「学校体育」5巻4号 昭和27年
- 83) 都原宗博：私の試みた指導案（球技 ハンドボールを中心として 指導）「学校体育」7巻2号 昭和29年
- 84) 岡村昭二：私の試みた学習指導案 ハンドボール「学校体育」7巻8号 昭和29年
- 85) 川口利夫：私の試みた指導案 ファイトゲームの指導 「学校体育」7巻12号 昭和29年
- 86) 松本正忠：私の指導案 中学校・トライボールの

- 指導 「学校体育」 8 巻 2 号 昭和30年
- 87) 金子新一：私の試みた指導案 テニス 「学校体育」 9 巻11号 昭和31年
- 88) 小山子寿：ソフトボールのフィールドイング 「学校体育」 16巻 7 号 昭和38年
- 89) 谷口正毅：卓球におけるシュートの打合いの指導 「学校体育」 16巻11号 昭和38年
- 90) 松田利秋：中学校体育科指導のポイント ハンドボール各種シュートの指導 「学校体育」 16巻11号 昭和38年
- 91) 酒井一九：軟式テニスのサーブとレシーブの指導 「学校体育」 16巻12号 昭和38年
- 92) 立岡 弘：ゲームの評価と学習の評価 「体育科教育」 24巻 5 号 P32～P35, 昭和52年